

八王子ITネットワーク 11月例会メモ

日時：平成30年11月15日（木） 18：30～20：00 参加人数 11名

場所：サイバーシルクロード八王子

1.『ウェブ解析八王子の報告と Google Dataset に関して』の報告 (株式会社 PowerWave 大岡氏)

<ウェブ解析八王子の報告>

- 目的として、ウェブ系製作会社のニーズ・スキルアップ・人脈拡大・参加者の継続的学習の場になっている。
- 参加者は機密保持契約締結をしている。
- 実施内容は参加者の発表・トレンド情報の共有・参加者からの要望があれば議題の討議を行っている。
- 下記の日程で開催。
 - 2018年2月27日（火）GoogleAnalyticsの使いかたのコツ
 - 2018年3月16日（金）SNSの活用成功事例
 - 2018年4月18日（水）MEO
 - 2018年5月16日（水）ウェブ解析ツールの戦国時代
 - 2018年6月20日（水）HTML構造化
 - 2018年7月26日（木）人工知能
 - 2018年8月24日（金）近年のWEBデザインの手法&JIS X8341-3:2016
 - 2018年9月10日（月）EC-CUBEのカスタマイズ
 - 2018年10月15日（月）アンケートとNPS、顧客の理解方法
 - 2018年11月7日（水）AWSを利用したECサイト
- 開催頻度は毎月行っているが、参加者の負担などを考え来年の3月から開催頻度を変更する予定である。（開催頻度は検討中）
- 今後は外部からの講師の招聘や実務的な運用例など取上げる。

<Google Dataset に関して>

- 世界各地の地方自治体や政府もデータを公開している。
- Webから数千ものデータレポジトリや何百万ものデータセットにアクセスできる。
- 今後は需要になる構造化データ、schema.org(スキーマドットオルグ)に準拠している。
- 記述形式はGoogle、Microsoft、Yahoo!によって設立した「schema.org」に準拠し、データ作成者や作成方法、公開日およびデータの使用条件に関する情報を含める事

を推奨している。

※実際にPCで使用して検索を行いながら説明。

- オープンデータを市民の方が、見つけやすく、使いやすくするには、どのようにデザインをするのが重要になる。
 - 世界的に面白い情報が集まり見る事ができる一方で、情報担保するために情報を出す側やその情報を活用する側も公開日・著作権・作成者を明確にする必要がある。
 - 地方自治体は総務省が定めた推奨データセットを基に情報を提供している。
- ※推奨データセットとは、地方公共団体によるオープンデータの公開とその利活用を促進するため、オープンデータに取り組み始める地方公共団体の参考となるよう公開することが推奨されるデータセット及びフォーマット標準例を取りまとめたもの。
- データに意味を持たせる構造化データが主流になっている。

2.南多摩5市ライタソンについて（株式会社ワイ・シー・シー 齊藤氏）

- 10月20日（土）稲城市で「観光やレクリエーションで多摩の魅力」テーマに開催した。
- 参加者は10代の小学生から70代まで40名の方が参加。
- 多摩信用金庫の方にオープンデータで地域の人口や多摩の特徴などの情報共有を行う。
- 今回はライタソンを行ってLINEのガイドチャットボットを作成。

※議題は今年稲城市に引っ越してきました。地域の方にどんな質問をしてみたいでしょうかの問いに対して、質問の回答を参加者で考えて付箋に記入。

- 付箋に書いたQ&Aを皆で協力してスマホでデータ入力して233件のデータが登録。
- 登録したデータがガイドチャットボットで動くか検証して終了。
- 来年は八王子市でイベントを行うので、アイデアなどご協力をいただければと思う。

※ライタソン（Write-A-Thon）はWrite（書く）とMarathon（マラソン）の造語で、参加者みんなで、あるあるを出したり、質問を出したり、回答を考えたりするワークショップ。

※「チャットボット（Chatbot）」とは、チャット（会話）とボット（ロボット）を組み合わせた言葉で、人工知能を活用した「自動会話プログラム」のことです。